

- 東海環状道の開通により、**並行する国道258号の平均速度が改善**しました。
- 例えば、国道258号楽田町交差点から伝馬町交差点の間の時間帯による速度のばらつきが、**3分の1減少し、定時性が向上**しました。
- また、渋滞の原因となる1時間の平均旅行速度が10km/hに満たない激しい混雑が、2日に1回から21日に1回と**10分の1になりました**。

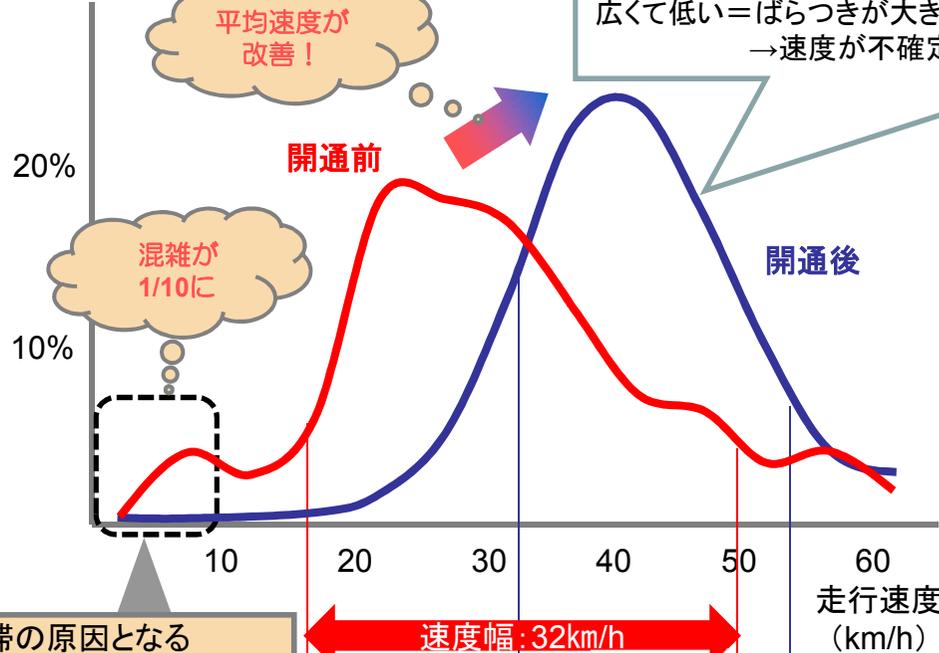
## 国道258号楽田町⇒伝馬町の速度分布の変化

【グラフの見方：グラフの幅と高さ】

狭くて高い＝ばらつきが小さい  
→いつも同じ速度で走れる  
広くて低い＝ばらつきが大きい  
→速度が不確定



頻度分布



渋滞の原因となる  
速度が10km/hに満たない  
時間帯の頻度

開通前: 4.2% (2日に1回)

開通後: 0.4% (21日に1回)

速度幅: 32km/h  
開通前のばらつき  
18~50km/h※

速度幅: 21km/h  
開通後のばらつき  
32~53km/h※

1/3減少し、  
定時性向上

データ：供用前(2010年9月1日~11月30日)、供用後(2012年9月16日~11月30日)の  
昼間12時間の旅行速度の変化を民間プローブデータにより算出した結果です。

※速度のばらつき: 上位・下位10%を除いた速度幅